

御門の許へ送られしは後一子と産む長太郎を母の義忠
といふ杉景勝は仕へ寛文十二年十一月十一日卒す時
八十二歳なり其子長次郎九郎義連といふ津輕出佐
守はへん保二年正月以前より村上七郎を母の少村
久多母と討てり後清揚院殿甲府君は仕
り義忠記は無名氏と討てり追善は義忠加茂
御は光安寺と建つ光安は無名氏の請なりといふ信
山社なり後れ今加茂より移して大梵寺の城西なり
時宗より光安寺に寺なり今光安寺といふ寺なり

家へ移されしは後一子と産む長太郎を母の義忠
といふ杉景勝は仕へ寛文十二年十一月十一日卒す時
八十二歳なり其子長次郎九郎義連といふ津輕出佐
守はへん保二年正月以前より村上七郎を母の少村
久多母と討てり後清揚院殿甲府君は仕
り義忠記は無名氏と討てり追善は義忠加茂
御は光安寺と建つ光安は無名氏の請なりといふ信
山社なり後れ今加茂より移して大梵寺の城西なり
時宗より光安寺に寺なり今光安寺といふ寺なり

高安寺の破戸に上りて續くを説くといふ已の終あり六月日誌